



555 Vibhavadi-Rangsit Road, Chatuchak Bangkok 10900 Tel. 0 2553 8111, Fax : 0 2553 8222

プレスリリース / PRESS RELEASE

第 150/2567 (Aor. 70) 号

2024 年 11 月 1 日

**BOI データセンターへの 600 億バーツの投資を承認
同時に投資促進策を拡大し、景気回復を加速**

BOI 委員会は、Google および GDS の関連企業による 2 件の大規模データセンター投資プロジェクトを承認しました。投資総額は 600 億バーツ以上となる予定です。また、PCB 原材料で世界第 2 位のメーカーである生益科技 (Shengyi Technology Co., Ltd.) による 60 億バーツを超える投資計画も承認しました。さらに、洪水被害を受けた事業者に対する支援策を打ち出し、大規模プロジェクトによる投資促進策を 2025 年 (仏暦 2568 年) まで延長し、景気回復の支援を継続します。

投資委員会 (BOI) のナリット・テートサティエラサック長官は、2024 年 (仏暦 2567 年) 11 月 1 日に、ピチャイ・チュンハワチラ副首相兼財務大臣を議長として行われた投資委員会 (BOI 委員会) の会議で、総額 600 億バーツを超える 2 件の大規模データセンタープロジェクトの投資奨励を承認したと発表しました。承認されたプロジェクトは、Google の関連企業であるクオーツ・コンピューティング社による総額 327 億 6000 万バーツの投資と、GDS の関連企業であるデジタルランド・サービス社による総額 280 億バーツの投資です。

Alphabet Inc. (米国) の子会社であり、Google の親会社であるクオーツ・コンピューティングによるデータセンタープロジェクトは、Google が 2024 年 9 月 30 日にタイ首相との会談で発表した事業計画に基づく投資です。この計画では、タイに新しいデータセンターおよびクラウドリージョンを建設する予定であり、第一フェーズの投資額は 10 億米ドルにのぼり、ます。このデータセンターは、Google がアジアに建設する 5 番目の施設となり、タイのチョンブリー県に設置される予定です。サービス開始は 2027 年初頭を目指しています。

世界的な大手データセンター事業者であり、中国および東南アジア地域でサービスを提供している GDS グループ関連企業であるデジタルランド・サービス社のデータセンタープロジェクトについては、新プロジェクトがタイのチョンブリー県で 2026 年 (仏暦 2569 年) にサービスを開始する予定です。

両プロジェクトは、大規模かつ高い処理能力を備えたハイパースケールデータセンターとなり、急速に成長する ASEAN 地域、特にタイにおける消費者および事業セクターのクラウドサービスの需要拡大を支えます。タイは、オンラインサービスの利用率やデジタル技術へのアクセス割合が高く、5G、クラウドコンピューティング、モノのインターネット（IoT）、AI 技術を活用したビジネスの拡大や企業価値を向上させる取り組みが進んでいます。また、タイは地理的に急速に成長する東南アジア市場と容易に接続できる利便性の高い位置にあるため、他国へのデータセンターサービス提供の拠点としても機能します。

「タイにおけるデータセンター事業への投資の流れは引き続き活発です。今回の 2 件の大規模プロジェクトにおける世界的企業の投資決定は、タイの潜在能力を改めて証明するものであり、国内のデジタルインフラをさらに強化し、民間企業と政府機関のデジタル時代への移行を支援します。また、タイを ASEAN 地域におけるデジタルイノベーションハブへと位置付ける重要な原動力となるでしょう」とナリット氏は述べました。

現在、データセンターおよびクラウドサービス事業に関する投資奨励を申請しているプロジェクトは合計 47 件、投資総額は 1730 億バーツを超えています。これらの投資は、米国、オーストラリア、中国、香港、シンガポール、日本、インド、そしてタイの大手企業によるものです。

また、BOI 委員会は、電子基板（PCB）の主要な原材料である Prepreg および Copper Clad Laminate（CCL）の製造プロジェクトに対する投資奨励を承認しました。このプロジェクトは、世界第 2 位のメーカーである生益科技社によるもので、総投資額は 61 億 5000 万バーツに上ります。同社がタイでの投資を決定した背景には、タイの PCB 産業の成長可能性があります。主要な顧客として、KCE、APEX、MFLEX などの大手 PCB メーカーがあります。生益科技社のこの投資は、タイにおける PCB 産業のサプライチェーンを構築する上で重要な役割を果たすもので、PCB 産業がタイ経済の新たな原動力の一つになることが期待されています。このプロジェクトはチャチュンサオ県で実施され、タイ人スタッフ約 200 名の雇用が創出される予定です。

洪水被害支援措置を導入 - 投資促進策の拡充

BOI 委員会の会議では、投資奨励を受けた企業のうち、洪水被害を受けた事業者を支援するための措置が承認されました。この措置は、洪水被害を受けた企業の負担を軽減し、事業の早期復旧を支援することを目的としています。具体的には、損傷した機械の代替として輸入される機械に対する関税免除や、洪水で損傷または紛失した機械や原材料を帳簿から削除する処理を認めることで、税負担の免除するものです。これらの措置の適用を受けるためには、発表日から 6 か月以内に必要書類を BOI へ提出する必要があります。ただし、発表日以降に洪水被害を受けた場合は、洪水が収束した日から 6 か月以内に書類を提出する必要があります。

さらに、BOI 委員会は、**2024 年末で終了予定だった**、既存生産基盤の維持・拡大プログラム（Retention and Expansion Program）、包括的な事業移転促進プログラム（Relocation Program）、景気回復を目的とした投資促進策、自動車産業の高度化を図るための投資促進策、の 4 つの主要な投資奨励策について、期間延長および条件改定を承認しました。これらの措置は 2025 年末まで延長することが決定されています。また、「景気回復を目的とした投資促進策」に関しては、実際の投資額の最低条件を 10 億バーツから 20 億バーツに引き上げ、大規模投資を継続的に促進することを目指しています。

“BOI は全投資規模、タイと外国の両者を投資奨励する”

